

女性の感性と優しさを町政に反映させたい
だから

レディース・フォーラム



△中野町長のあいさつの中で、5月の霜・ひょう被害についての説明がされた。

町では、女性の視点から、住みよき町づくりを推進しています。七月十六日(水)、豊明館多目的ホールで『レディース・フォーラム』が開催されました。出席された皆さんは、女性の声としてさまざまな意見や要望を町に伝えていました。それでは、フォーラムの様様を一部ご紹介いたします。

Q 我が町が大地震に見舞われた時の危機管理体制はどうなっているのでしょうか。情報伝達方法、避難場所などをお知らせください。

A 【総務課長】

ご質問の町の危機管理体制であります。県内全ての市町村は災害対策基本法に基づき、県や国の防災組織に連動した防災会議を設置しており、地震、台風、大雨、大雪などの警報等が発令され、大規模な災害が予想される場合には、状況に応じて災害対策本部を設け、国県との関係機関と連携して防災活動に当たることになってお

ります。その災害対策本部は、町長を本部長、副町長、教育長を副本部長として、以下各課長及び消防団長、消防署長が本部長となり、それぞれ所属する課職員が、分担して災害に対応して救護活動や避難誘導、食糧支援などにあたることになっております。



△本年度から自由懇談のほか、テーマに沿った話し合いも試みられた。今年度のテーマは「ゴミの減量化」

の助け合いや危機管理への連帯意識を深めていただくことが大切かと思っております。

Q 今後、町立病院はどうなるのですか。

A 【町立病院事務長】

県では、平成十四年六月に「西北五地域自治体病院機能再編成計画アクションプラン策定委員会」を設置し同年十一月に「機能再編成計画」案を策定しました。

それに基づき、つがる西北五広域連合では、平成十八年二月に「西北五地域における自治体病院機能再編成マスタープラン」を作成し、その中で町立病院は、新設の中核病院開院と同時に内科医一人と外科医一人の診療所となる予定であります。